

“2024ひろしまフラワーフェスティバル”に参加しました
—グアナファト州から楽団を迎え、友好提携10周年を大いに盛り上げました—

“2024ひろしまフラワーフェスティバル (FF)”が5年ぶりに5月3日から5日の3日間開催されました。

天候にも恵まれ、来場者は過去最高の181万6千人を記録し、メイン会場の平和大通りは多くの人で賑わいました。

初日の3日には、昨年に続いて“花の総合パレード”に参加しました。今回は友好提携10周年を祝う“ミニ花車”を先頭に、グアナファト州より派遣されたエストゥディアンティーナ“エストゥディアン・トゥナ”とマリアッチ“フヴェレス・カンペロス”の2つの楽団とともに、アステカ文明第5の太陽神のイラストTシャツを新たに揃え、約170名の参加者は思い思いのスタイルで、幟やメキシコ国旗の手旗などを手に、平和大通り田中町をスタートし、平和記念公園前を通り、西平和大橋東詰までの1.2kmを35分かけて行進しました。



“エストゥディアン・トゥナ”と“フヴェレス・カンペロス”の2つの楽団は3日間で、合わせて9ステージで演奏しました。グアナファト州知事推薦の楽団だけあって実力は申し分なく、各ステージで注目を集め、陽気なラテン音楽の演奏とその歌唱に来場者から盛大な拍手をいただきました。

また、3日の各楽団が登場した平和記念公園内のメインステージ“カーネーションステージ”と田中町の“バラステージ”に、湯崎知事が登壇され、友好提携10周年やグアナファト州の紹介などご挨拶されました。



今回も、当親善協会が初めてFFに参加した2016年から“マツダひろば”において出店しています。グアナファト物産販売に協力しました。

友好提携10周年という節目のFFに、グアナファト州政府から2つの楽団を派遣いただきましたことに感謝申し上げます。また、会員の皆様には、パレードの参加や楽団のステージに足をお運びいただき、更には各方面でご支援いただいた方々に対しても感謝申し上げます。